

平成25年11月14日

さいたま市長 清水 勇 人 様

さいたま市総合振興計画審議会
会 長 横 道 清 孝

さいたま市総合振興計画について（答申）

平成25年4月17日付け政政企第130号をもって「さいたま市総合振興計画次期基本計画」について諮問を受け、当審議会では、これまで部会を含め、延べ24回にわたる会議を重ねてまいりました。

次期基本計画の検討に当たりましては、市政運営の基本となる総合振興計画の重要性を鑑み、総合振興計画基本構想に掲げられている将来都市像の実現に向けて、さいたま市を取り巻く諸情勢の変化を勘案しつつ、慎重かつ活発な議論を行ってまいりました。

また、市におかれましては、当審議会を設置する以前から、市長が自ら各区へ出向いて実施されたタウンミーティングをはじめ、無作為抽出により参加者を募って開催されたワークショップ等に取り組み、そして平成25年度のパブリック・コメントの実施に当たりましては、市報さいたまに素案(概要版)を折り込むことで広く周知を図るなど、様々な工夫を凝らし、かつ地道に市民意見を集めながら検討を進められたことは、高く評価できるものと考えております。

審議会といたしましても、これら様々な市民意見を踏まえつつ検討を進めてきたところですが、市におかれましては、一つ一つの市民意見を貴重なものとして参考にしながら、市政運営に取り組んでいただくよう、お願い申し上げます。

本計画に基づき、多くの市民の理解と協働のもと、市民生活の向上を基軸として様々な施策が展開され、そして、さいたま市が首都圏、日本、そして世界をリードする都市に躍進していくことを念願し、本日ここに次期基本計画（案）を答申いたします。